令和７年度　愛媛県総体　バレーボール競技出場チームへの連絡※訂正版

以下に記載する日程・競技・審判・会場使用に関する内容を、チーム関係者及び、応援の保護者などにも、必ず周知・徹底をお願いします。

1　期　日　　令和７年７月２２日（火）・２３日（水）・２４日（木）

2　会　場　　愛媛県総合運動公園体育館

3　コート　　メインアリーナ（A・B・Cコート）
　　サブアリーナ（Dコート・アップコート）

4　開会式・閉会式・・・実施しない

5　表彰について　○　３位は、試合終了後コート表彰とする。
　　○　優勝・準優勝は、男女の決勝戦終了後、時刻を設定して表彰を行う。

6　日程について

８：３０　開館（２階入場口）
９：００　開場**（第１試合のチームのみフロアを開放します。）**
９：００～９：４５　第１試合のチームのみフロアーで練習
９：４９　第１試合プロトコール開始
※　アップコートは、全チーム使用できます。 ※　Dコートで試合をしている時間帯は、アップコートでのボール使用や声出しはできません。

7　競技規定
⑴　出場チームは各郡市の代表とし、その数は競技別・地区別出場基準による。
⑵　トーナメント方式とし、すべて３セットマッチで行う。（３位決定戦は実施しない。）

8　引率者及び監督
⑴　選手の引率・監督は、出場校（チーム）の校長・教員・部活動指導員※１、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の代表（指導）者とする。なお、部活動指導員は、他校の引率者にはなれない。
※　ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第 78 条の２に示されている者をいう。以下同じ。
⑵　コーチについては外部指導者（コーチ）をおくことができる。外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が適切であると認めた者とする。但し、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者（コーチ）にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者にはなれない。なお、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）は該当しない。
⑶　愛媛県中学校体育連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者からの懲戒処分を受けていない者であることと、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分などに該当していない者であることとしている。校長（代表者）はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部指導者（コーチ）は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
⑷　学校における合同チームの引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員・適切であるとして校長が認めた外部指導者（コーチ）とする。但し、やむを得ない場合は、校長・教員（部活動指導員は含まない）による代表引率・監督を認める。
注意点　①　部活動指導員・外部指導者（コーチ）は代表監督にはなれない。また、合同チームの代表引率・監督になることができない。
②　部活動指導員として複数校に勤務する場合、本大会で引率・監督を担当できる学校は１校のみとする。
⑸　外部指導者（コーチ）が引率者となる場合は、「愛媛県中学校体育連盟主催大会引率細則」を遵守すること。

9　競技運営上の確認事項

⑴　競技は、２０２５年度(公財)日本バレーボール協会６人制競技規則及び、２０２５年度(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部としての取り扱いに準ずる。

①　ネットの高さは、男子２ｍ３０ｃｍ、女子２ｍ１５ｃｍとする。

②　大会使用球は、(公財)日本バレーボール協会検定４号球、人工皮革カラーボール（男子：ミカサＶ４００W、女子：モルテンＶ４M５０００）とする。

③　リベロプレーヤーは２名以内とする。(県中体連ホームページ掲載資料を参照)

④　今大会は､｢給水のためのタイムアウト｣を採用する｡(県中体連ホームページ掲載資料を参照)
それに伴い、熱中症対策としての団扇の使用を認める。県中体連ホームページ掲載資料を確認し、使用についての条件を守ること。

⑤　**２日目まではワンボールシステムで実施し、準決勝戦より５ボールシステムで実施する。**

⑥　**準決勝戦より、ナンバーパドルを使用してサブスティチューションを行う。**

⑵　競技日程及び方法は、プログラム掲載の通りとする。

⑶　本大会の競技運営は、全試合「時間設定」で行う。第２試合以降は、予定した時刻より遅れることがあっても、早く開始されることはない。試合開始時刻とは、最初のサービス許可のホイッスルの時刻である。但し、前の試合が長くなった場合、次の試合開始時刻は５分の合同練習後、プロトコールに入る。早く終了した場合は、設定時刻の１６分前から合同練習に入る。なお、試合が続く場合は前の試合が２セットで終了したときは１５分、３セットで終了したときは２０分の休息をとり、その後合同練習に入る。

⑷　公式練習は６分間とする。合同で公式練習をしない場合は、各チーム３分間とする。

⑸　公式練習において、登録されていない選手が、防球フェンス的役割で他コートへのボール侵入を防ぐためにコート際へ立つことができる。ただし、監督やコーチへの球渡し（球出し）やエントリー選手とのパス相手は厳禁とする。(平成３０年度より)

⑹　**合同練習を含む試合間の練習は、隣のコートにボールが飛び込まないような練習とする。(ネットは使用できない。)最終日の試合間の練習については、当日、当該チームに連絡する。**

⑺　試合に関して、ベンチ及びフロアには有効に登録された監督、コーチ、マネージャー、選手及びチーム補助生徒以外は入ることができない。但し、チーム補助生徒は、公式練習後はベンチ及びフロアに留まることはできない。なお、マネージャーは生徒に限る。

⑻　監督・コーチ・マネージャーは、規定のマークを左胸部につけること。

①　規定のマークがない場合は、ベンチに入れない。

②　中体連規定の「ＩＤカード」又は「腕章」は、必要なし

③　コーチが外部指導者の場合は、規定のコーチ章と外部指導者章が必要になる。

※　外部指導者（コーチ）章がない場合は、ベンチに入ることができない。

④　チームキャプテンは、胸のナンバーの下に規定のマークをつけること。

⑼　監督・コーチの服装は、統一されたものが望ましい。**(短パン・ランニングは不可)**

⑽　監督・コーチのベンチマナーについては、十分留意すること。

⑾　ユニフォームについては、規定を遵守すること。(県中体連ホームページ掲載資料を参照)

⑿　試合コート及びフロアーでのボール使用は、試合間、合同練習、公式練習、セット間（フリーゾーン後方のみ）以外は認めない。また、ロビーなどでのボール使用は禁止するものとし、他は会場使用規定に従う。

⒀　エントリーの変更・訂正は、**各チーム第１試合の前に、(注)所定の変更届を提出すること。**これ以外の変更は、如何なる場合も受け付けない。

(注)所定の変更届とは、県中体連より提示された物である。

⒁　その他

①　**試合開始及び終了のあいさつ後、両チームはネットまで進み、握手をしてあいさつする。チームキャプテンは、主審・副審に握手をしてあいさつする。**

②　試合中、ベンチには、競技に必要ない物を持ち込むことはできない。(マスコットやうちわ等)

③　試合中､スマートホン･タブレット･トランシーバー等の電子機器を使用することはできない。

④　応援時のメガホン・ペットボトル・太鼓等の使用は認める。ただし、音量や応援の方法が試合運営に支障があると判断した場合は、試合途中であっても使用中止にする場合もある。**なお、観覧席の手すり等はたたかないこと。**

⑤　応援のマナーや、会場使用に関するマナーを守ること。

⑥　「ラインジャッジ」及び「得点係」は、チーム相互で行う。

⑦　競技運営上の問題については、大会本部で合議し、最終判断する。

10　審判上の注意事項

⑴　本大会は、２０２５年度（公財）日本バレーボール協会６人制競技規則および、２０２５年度(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部の６人制ルールの取り扱いに準じて行う。リベロ・プレーヤーは、試合ごとに２名まで登録できる。

⑵　プログラム記載時刻は、試合開始のホイッスルの時刻である。

⑶　「トス」の後、監督及びチームキャプテンは、記録用紙にサインする。その際、監督はリベロナンバーを記入する。

⑷　公式ウォームアップは、６分間とする。どちらかのチームが相手チームとは別にネットを使用したウォームアップを要求した場合は、各３分間ずつ行うものとする。その際、ネットを使用しないチームは、ネットを使用するチームの練習を妨げてはならない。

⑸　各セット開始前にコート内でハドルを組む際は、ラインアップシートに記載された６人とスターティングリベロの計７名までとする。

⑹　各コートには、ウォーム・アップ・エリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。

⑺　セット間はエンド・ライン後方のフリーゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。

⑻　スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズ等）

⑼　いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意すること。ボールがデッドになった時点での不必要なコート外への飛び出しは、ディレーイング・ザ・ゲームになる恐れがあるので行わないこと。また、コート上の選手がベンチのスタッフや交代競技者とタッチ（ハイタッチ）などは行わないこと。

⑽　ワンボールシステムで試合を行うので、デッドになったボールは、速やかに次のサーバーに渡すこと。
　準決勝戦から、５ボールシステムで行うので、デッドになったボールは、速やかにコートサイドのボールリトリバーに渡すこと。

⑾　およそ８秒のテンポでサービス許可を行うため、次のサーバーは、相手からの返球を待たずにサービスゾーンに移動し、ボールを待つこと。

⑿　リベロリプレイスメントは、交代する２名がサイドライン上ですれ違うよう行う。その際、交代する選手同士が、手を挙げたり、つま先を揃えて一旦立ち止まったりする必要はない。

⒀　タイムアウトの要求は、オフィシャルハンドシグナルを明確に示して要求すること。

⒁　準決勝戦から、ナンバーパドルを使用してのクイックサブスティチューションシステムを採用する。

⒂　試合中のワイピングについては、原則としてコート内の選手が行う。（ワイピング用のタオルを各チームで準備しておく。）タイムアウト、給水のためのタイムアウト、セット間及び審判員が危険と判断した場合のみモップの使用を許可する。

⒃　監督はラリー中、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことを許可する。

【応援・会場使用上の注意事項】

◎ **今後も使用する施設ですので、各校で事前指導を十分お願いします。**

◎ **保護者への連絡・徹底も必ずお願いします。**

◎ **ベンチスタッフ以外は、応援席などからサイドコーチをすることはできません。**

◎ **大会運営の妨げになると判断される場合は、会場より退場していただく場合もあります。**

≪応援について≫

1　マナーを守って応援すること。

2　２階席の最前列は、試合をしているチームの応援優先とし、入れ替えで使用すること。

3　応援時のメガホン・ペットボトル・太鼓等の使用は認める。ただし、音量や応援の方法が試合運営に支障をきたすと判断した場合は、試合途中であっても使用中止にする場合がある。なお、**観覧席の手すり等はたたかない**こと。

※　Ｄコート（補助体育館）の応援においては、太鼓や鳴り物の使用は認めない。

≪会場使用について≫

1　館内の通路や観覧席では、ボールの使用やアップはできない。（柔軟程度）

2　ベンチでの給水はできるが、それ以外の飲食は２階観覧席で行うこと。

3　使用した応援席や付近の手すりなどは、**各チーム責任を持って消毒する**こと。

※　消毒液は、自チームで準備する。

4　**上靴と下靴の区別をつける**こと。

5　**下靴は各自の袋に入れて観覧席へ**持っていくこと。

6　傘を使用する場合も、袋に入れ、館内が濡れないようにして観覧席に持っていくこと。

7　更衣室は更衣のみに使用し、荷物は観覧席で保管すること。

※　トイレや更衣室など、目立たない場所で着替えをすること。

8　**トイレは、必ずスリッパに履き替える**こと。

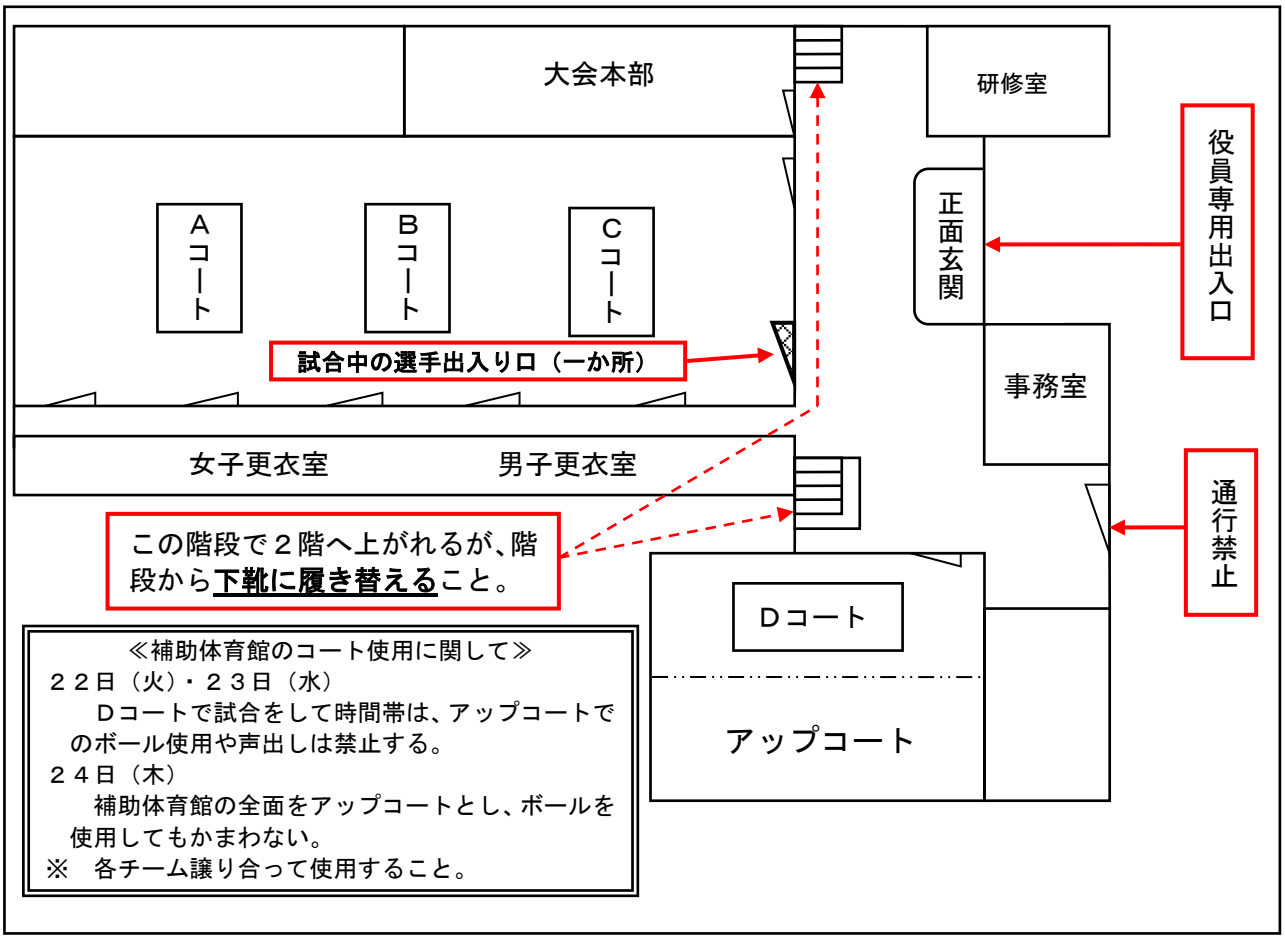
9　ごみは各チームで責任をもって持ち帰ること。

10　館内の**電源は使用しないこと**。（ビデオやポット、携帯電話など）

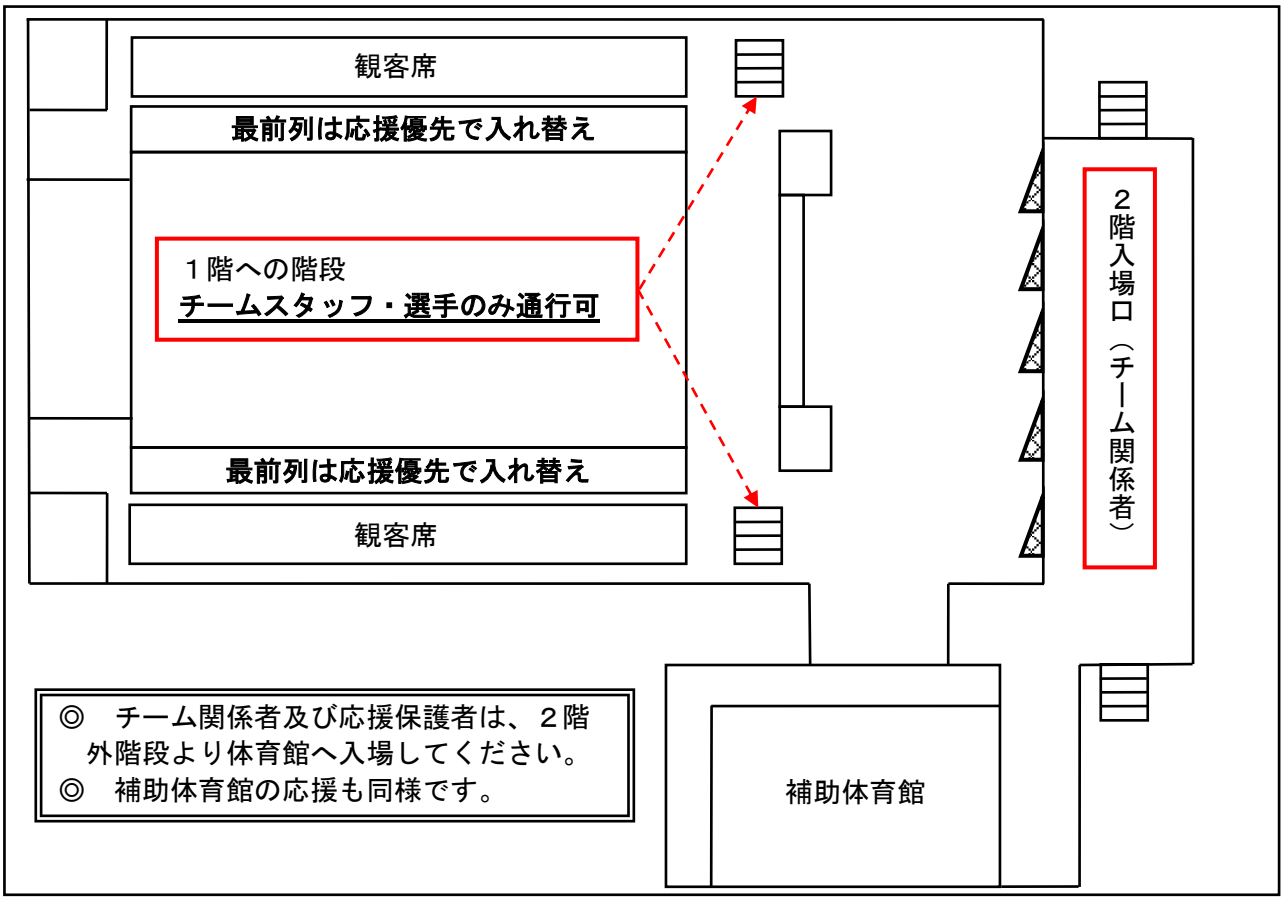
11　プレーの妨げになるため、写真やビデオの撮影時は**フラッシュを使用しないこと**。

12　盗難には、十分注意すること。

【会場図　（１階）】


大会本部
研修室
役員専用出入口
正面玄関
Aコート
Bコート
Cコート
試合中の選手出入り口（一か所）
事務室
女子更衣室
男子更衣室
通行禁止
この階段で２階へ上がれるが、階段から下靴に履き替えること。
Dコート
アップコート
≪補助体育館のコート使用に関して≫
２２日（火）・２３日（水）
Dコートで試合をして時間帯は、アップコートでのボール使用や声出しは禁止する。
２４日（木）
補助体育館の全面をアップコートとし、ボールを使用してもかまわない。
※　各チーム譲り合って使用すること。

【会場図　（２階）】


観客席
最前列は応援優先で入れ替え
１階への階段
チームスタッフ・選手のみ通行可
最前列は応援優先で入れ替え
観客席
２階入場口（チーム関係者）
◎　チーム関係者及び応援保護者は、２階外階段より体育館へ入場してください。
◎　補助体育館の応援も同様です。
補助体育館